

マイクロ波観測装置)

リフォルニア大学ロスアンゼルス分校)

UCLA : University of California at Los Angeles (カ

気象研究ノート第206号「北極振動」発刊のお知らせ

気象研究ノート編集委員会

本書は気候分野で最近話題の「北極振動」に関する初めての日本語の参考書で、異常気象や気候変動に興味のある方に最新の知識を提供する価値ある一冊です。

北極振動 (Arctic Oscillation : AO) は北半球冬季に卓越する変動でエルニーニョとともに北半球の気候変動の新しい主役です。冬季の日本の気候とも密接な関係にあります。冬季に成層圏の変動と結びついており、成層圏の方が先に変動することから長期予報への応用も期待されています。また地球温暖化により AO はプラスになるといわれており長い時間スケールの気候変動とも深いかわりをもっています。本書は読者を気候変動研究の最前線に案内いたします。編集、山崎孝治 (北海道大学)、全200ページ、2004年7月5日発行。購入申し込みは下記の学会事務局まで。

<目次>

- はじめに (山崎孝治)
- 第1章 北極振動の概要 (山崎孝治)
- 第2章 北極振動の中立モード理論 (木本昌秀・渡部雅浩)
- 第3章 NAO の力学と長周期変動 (渡部雅浩・木本昌秀)
- 第4章 成層圏循環との関係

- 4.1 対流圏北極振動と成層圏循環の関係 (小寺邦彦)
- 4.2 南北極夜ジェット振動と環状モードの関係 (黒田友二)
- 第5章 順圧大気大循環モデルによる北極振動の数値実験およびその力学的考察 (田中 博)
- 第6章 環状変動における地形の役割 (西澤誠也・余田成男)
- 第7章 北極振動と相互作用する海水分布と海洋構造の10年および超10年変動 (池田元美)
- 第8章 アリュージェン・アイスランド両低気圧間のシーソー現象
- 8.1 シーソーの3次元構造、形成過程、経年変動、天候への影響 (本田明治・中村 尚)
- 8.2 シーソー現象に見られる20年規模変動 (中村 尚・山根省三・大淵 斉)
- 第9章 見かけの北極振動と真の北極振動—北極振動の実在性をめぐって— (伊藤久徳)

(社) 日本気象学会事務局

Tel : 03-3212-8341 (内線2546)

Fax : 03-3216-4401

E-mail : metsoc-j@aurora.ocn.ne.jp